事	務事	業名	合志	市総合	計画進	行管理	!のための市民	意識調査	実施事業		=フェスト 月 連	□ 全庁 課題	横断 関連	☑ 集中で プラン	货革 関連	
総合	J	汝 策	4	みん	な元気	で笑顔	[あふれるま]	ちづくり		所属	萬部 政策	部	課長名	内田	秀一	郎
計画		拖 策			改革の					所履	100000000000000000000000000000000000000		担当者名	宮川	里佳	
体系	基	本事業					業の推進			所履	禹班 政策	企画班	(内線)	1254		,
Ξ	予算	科目	会計 一般	<u>款</u> 2	_ <u>項</u> 1	<u>目</u> 11	事業連番 11480	法令 根拠					成果優先度コスト削減優先	上度評価	************	9
終了	、開	始年度		24年度	で終了	. [□ 24年度から	5開始	事業期間	□単4	年度のみ □期間限	☑単年度繰〕 定複数年度	区(開始年度 (~ 18		年度) 年度)
★事	務事	事業の概	要(具体的	りなや	り方、	手順、詳維	⊞。期間	限定複	数年度	事業は全体	(像を記述)				
)内容】	市	民の意	識を数	値化し	総合計画の	策定と行	政評価σ)成果指	標設定に反	央し、市民意	哉の現状値把提	屋や成果	指標の	の実績値
													て、行政評価シ 前提とした計画			
きった	かけ・	背景・ 今後の を含む)	数値	目標を	掲げる	。それ	によって、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	統計数値	では測れ	しない市!	民の意識な。	ど、成果、実終	責値を数値とし	て把握	するか	とめ開始
【業	務の	流れ】	①調	査票の	調査項	目を、	行政経営推	進部会(課長級)	による	検討におい	て設定。②設定	定された設問に	ついて	、調査	1票とし
			ての	編集を の送付	加え、 . 回収	印刷。 を行 <i>た</i>	③市民3,000)人を対象 結果は、	くに、性だ 全体集計	別・年齢 Hと性別	別・小学校 ・年齢別・/	区別を基本条 N学校区別の4	件に、無作為 フロス集計を行	に抽出し	八 郵 報告調	送で調 まとして
			まと	める。	⑤集計	結果は	は、施策マネ	ジメント	シートへ	の反映	こ活用する。	⑥結果は、	市ホームページ	に掲載	し公表	長する。
【主	な予	算費目】	消耗	品費、	役務費	(郵便	更代)、委託:	料								
【意	見や	要望】	意	識調査	の回答	者から	ら、「調査の	意図が不	明である	ر ا و ج	意識調査の	詰果をどのよ	うに活用するの	かわか	らなし	۱, ۱
事業が係者等意見が	対象 等) か や要望	民、議会、 者、利害関 らどんな 望が寄せ るか?	なぜ	自分が	抽出さ	れた0	Dか。」など ⁽	の記述が [:]	寄せられ	にている。	•					
1	現北	犬把握の	部(DO.	PΙ	AN)										
(1)事	務事	事業の目的	りと指	標						新規・	・拡充区分					
							った主な活!						いる主な活動			
・行、分	政評 析を	価の成果 行なった	:指標語。 回り	没定に. 仅率は.	反映す 、35.1º	るため %であ)、5月の連休 うった。	をはさん	で回収		期基本計画 ₹ンケートを		指標把握のため	の、市氏	3, 000	人を対
	C	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· –								- ,	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
										ļ						
① /i	5動技	旨標(事務	事業	の活動	量を表	す指標	票)		(単位) 予算の	つ主な増減の)理由				
		出標本数							件	・発送	差、返送用卦	†筒および宛名	ムシール購入の	ための均	曽	
<u> </u>	ļ															
					いるのだ	か) *	人や自然資源	原等				の大きさを表	す指標)			(単位) 問
• 奉	本 計	画の施策	別及	米拍 惊						$\Rightarrow -\frac{1}{2}$	意識調査の)設向数				间
③章	図(:	の事業	こよっ	って. 対	†象を	どう変	えるのか)			(3)成身	₽指標(章図	の達成度を表	す指標)			(単位)
		画の進行											活かされたテ	ータの	割合	%
										ブイ						-F
	*******						设定の根拠 スま#エキ	744 "		ᅩᆔ시				総トー	タルコ 体計画	
• 総	合計	画に反映	させん	6ため1	こ行な	ってい	る事業である	5ため、7	古用され	た割合と	こした。			± · ~		度
																0
(2)各	指標	票·総事業	費		22年	主度	23年度	24年度	: 94	1年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
σ	推利	\$		単位	実績(目標(当初子			目標(当初予算		見込	見込		/
Œ	D 汪	動指標	ア	件		0	3, 000	3, (000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 0	00	/
	> 1E	293111 101	イ				00		00		0.0	1 00	20		20	/
2) 対	象指標	アイ	問		0	62		62	62	62	62	62		62	/
			ア	%		0	100		100	100	100	100	100	1	00	1
(3	③ 成	果指標	イ	[/]		<u>-</u>										/
		国庫支	出金	千円												
	財	都道府県]									
事	源	地方		千円								ļ				
也。	内 訳	その		千円			4					 				
投業	E 17/	繰入 一般則		千円			1, 208		247	1, 200	1, 313	1, 313	1, 313	1, 3	12	
入費	, (— 板 A) 事業		千円		1	1, 208		247	1, 200	1, 313	· ·	1, 313	1, 3		
/ 負	,	A) かうち打				0	0	1, 4	0	0	1, 516		0	1, 0	0	
量		(A)のうち時間		千円		0	0		0	0	(_	0		0	
人	正規	見職員従来	事人数			2	2		2	3	4	2 2	2		2	
件		正べ業務		時間		130	205		200	1, 195	200		200		00	
費		(B) 人件事		千円		535			307	4, 864	807		807		07	
I K	4	レコスト(A	+(R)	千円	ı	536	2 039	2 ()54	6 064	2 120	2 120	2 120	2 1	20 W	

事務事業名	合志市総合計画進行管理のための市民意識調査実施事業	所属部	政策部	所属課	企画課
チガチネル		1717129111	以 木 印	171 /129 H/K	正旦际

0	評価の部	(CTT)
2	計画でと言い	OEE

*	: 原則け24年度の)事後評価 7	ただし複数な	E 唐事業け24	年度宝績を踏	まえての途中評価

	↑原則は24年度の事後計価、たた	し後数平及事業は24年及夫閥を始まえての述中計価
目標達成度評価	①24年度目標達成度評価	☑達成した □達成しなかった ⇒【原因 つ
	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?	
	②25年度目標達成見込み	図目標達成見込みあり⇒【理由 ¬ □目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ¬ データについては、全てマネジメントシート作成のため行なわれているので、目標達成
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?	は可能。
	③成果の向上余地	□向上余地がある ⇒【理由 ¬ □向上余地がない ⇒【理由 ¬
有効性評	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	成果の実績を測るための意識調査であり、統計上の信頼性を保つことで目的が達せられ、向上の余地はないが、設問中に設ける「自由意見記述」に回答していただくことにより、それぞれの事務事業マネジメントシートに反映することができ、市政への参画意欲を高めることが期待でき、成果の向上余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可 能性	□他に手段がある¬ (具体的な手段、事務事業) ☑他に手段がない ⇒ 【理由 ¬ □統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ¬ □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ¬ □
価	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	行政評価のための市民意識調査はこの事業のみであり、個別の事務事業に係るアンケート調査は専門性があり、事業の統廃合はできない。ただし、類似の設問の共有は可能であり、活用は図れる。
	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある ⇒【理由 ¬ □削減余地がない ⇒【理由 ¬
-1-1		総合計画の進行管理を行なう上で必要な事業であるため、削減する余地はない。
率	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
性評	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒【理由 ¬ □削減余地がない ⇒【理由 ¬
価		必要最小限で行なっているので削減の余地はない。
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできない か? (アウトソーシングなど)	
公平	⑦受益機会・費用負担の適正化余 地	□見直し余地がある ⇒ 【理由 ¬ □公平・公正である ⇒ 【理由 ¬ □公平・公正である ⇒ 【理由 ¬ □公平・公正である ⇒ 【理由 ¬ □ □公平・公正である ⇒ 【理由 ¬ □ □公平・公正である → □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
十性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 ではないか?受益者負担が公平・公正になって いるか?	公平・公正性評価になじまない。
役割	⑧行政の役割分担の適正化	□見直し余地がある ⇒【理由 □ □役割分担は適正である ⇒【理由 □
役割分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行できないか?	市が策定した基本計画の成果を測るための調査であり、市が主体的に行なう事業であるため適正である

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

回答率は35.1%であり、例年並みであった。回答者からの問い合わせ等もなく調査は円滑に実施できた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)			
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・i	改善による期待	寺成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善	(廃止・休	止の場合は記	入不要)
□事業のやり方改善(効率性改善□事業のやり方改善(公平性改善	***	コスト	
☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない	1	削減 維持	増加
	, 向上		
	成業持		
	低下		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策